

壁新聞にご利用ください。



新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協力会
会長 藤木 幸太



では海外よりの詐欺行為も増加して、手段も巧妙になっております。神奈川県内でも令和五年一〇月末の状況ですが、一、六八六件が認知されて約三五億円の被害が発生しております。

明けましておめでとございます。横浜水上警察署署員の皆様、横浜港防犯協力会会員の皆様、新春を新たな気持ちで期待をこめてお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

皆様方から日頃より、当防犯協力会の運営に多大なご協力を賜りまして、改めて厚くお礼申し上げます。さて、昨年一年を振り返りますと、国内においてはコロナ禍が落ち着き二類感染症から五類感染症に切り替わり様々な場面で徐々に通常の生活に戻ってきております。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
山田 高志



明けましておめでとございます。公益社団法人横浜港防犯協力会の皆様方には平素から警察行政各般にわたり、深いご理解とご支援をいた

ようお願ひ申し上げます。結びとなりますが、公益社団法人横浜港防犯協力会の益々の発展と会員の皆様とご家族のご健康、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
岡澤 俊長



新年明けましておめでとございます。公益社団法人横浜港防犯協力会会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

税関では「安全・安心な社会の実現」を使命の一つとして、不正薬物や銃砲等の社会悪物品、テロ関連物資、知的財産侵害物品等の密輸を阻止するため、水際取締りに取り組んでおります。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
中野 裕也



令和六年の年頭にあたり、謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「国際競争力のある港」については、基幹航路の維持・拡大に向けて、国と連携しながら国際コンテナ戦略港湾施策を進めていきます。南本牧ふ頭では、日本最大唯一の水深一八m岸壁を持つMCI14コンテナターミナルの一体運用の推進と背後地5-1プロックの整備を進めま

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長 藤木 幸吉



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

公益社団法人横浜港防犯協力会の皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様方には平素より横浜港や地

域の安心・安全な街づくりのため、「防犯活動」にご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、海外ではロシアによるウクライナへの軍事侵攻から間もなく二年を迎え、二月にはトルコ・シリア両国に大地震が発生し、四月にはアフリカのスーダンで国内の武力衝突が勃発し、秋には中東紛争等、世界中が多

また夏には記録的な猛暑が続き、集中豪雨・台風その他の被害も全国各地で発生し、地球温暖化の深刻さが身にしみました。一方、スポーツ界の明るいニュースが我々の心に喜び元気をそよませて笑顔を与えてくれました。

横浜水上交通安全協会といたしましては、今後も悲惨な交通事故をなくすため、横浜港防犯協力会はもとより県・市・中区・警察等関係機関のご指導ご協力をいただきながら、安心・安全な街づくりに向けて街頭キャンペーンや広報車パトロールを積極的に進めて参る所存でございます。

結びになりますが、横浜港防犯協力会の益々の発展と会員の皆様方のご健康、ご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



壁新聞にご利用ください。

新年のご挨拶

横浜市中区長 小林 英二



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様には、健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

藤本会長をはじめ、会員の皆様方には、日頃から市政・区政の推進に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方の活動地区である臨海部は、横浜港開港以来「日本の海の玄関口」として、横浜そして日本発展の原動力となってきた港です。また、赤レンガ倉庫や大さん橋、横浜ハンマーヘッド等の臨海エリアは全国から多くの人が訪れる人気の観光スポットですが、一方で防犯対策上は非常に難しい地域となっております。昨年、振り込め詐欺や、還付金詐欺、キャッシュカード受け渡し型詐欺などの他に、「マイナンバー制度」や「新型コロナウイルス感染症」など、新たな政策・制度やその時々々の社会の出来事に乗じた特殊詐欺などの被害が多く聞かれました。

このような状況の解決に向け、毎月の「防犯の日」を中心とした広報パトロールや防犯キャンペーン、訓練、教室など、様々な活動を長年にわたり御尽力いただいております。ことに、重ねて感謝を申し上げます。区役所としましても、四警察署、防犯協会・防犯協力会と、年々巧妙化する犯罪に関して情報共有するほか、引き続き犯罪の発生状況を「安全・安心メール」として送信し、注意喚起を行ってまいります。また、昨年一月には、四警察署、防犯協会・防犯協力会の皆様にご協力いただき、区民祭り「ハローよこはま」を盛大に実施することができました。来場者への特殊詐欺等の啓発グッズの配布など、防犯対策を紹介いただきましたことに感謝申し上げます。中区は、令和九年に「区制一〇〇周年」を迎え、同年には「GREEN X EXPO 2027」通称、「国

新年のご挨拶

横浜海上保安部長 小倉 修一



新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様には平素から本部が実施する海上保安業務に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。日頃の防犯活動を通じて地域の安全・安心の実現に多大な貢献をされていることに敬意を表する次第です。さて、昨年を振り返ってみますと、五月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが第五類に移行し、ウィズコロナにおける社会活動、経済活動が活発化してきていると感じています。ここ横浜港においても多数の大型クルーズ船の入港や、各種イベントの開催など、賑わいを見せてきています。

当部におきましても、横浜海上防犯基地や巡視船の一般公開のほか、各種行事の実施を通じて、一般の方々に海上防犯を含め海上保安業務のより一層の理解を深めていただく機会を多く持つことができました。また、昨年はG7広島サミットや関係閣僚会合が全国各地で開催されましたが、横浜港においてもテロ等

際園芸博覧会」が横浜で開催されます。この大きな節目、またビッグイベントに向けて、中区では機運醸成に取り組みとともに、「誰もが安心して活力を実感するまち中区」に住んで良し、働いて良し、訪れて良し」という中区の基本目標の実現に向けて歩みを進めてまいります。住みよい街と明るい港を守るため、横浜港防犯協力会、横浜水上警察署、関係団体・企業の皆様とともに防犯活動に取り組みで参る所存ですので、本年もご協力をお願いいたします。結びに、横浜港防犯協力会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

の未然防止のため、関係の皆様との連携・協力のもと水際対策を的確に推進することができました。一二月には横浜港水際危機管理対応合同訓練を各機関の協力のもと実施することができ、横浜港において万全な水際危機管理体制が敷かれていることを示すことができました。これ以外にも海上の安全・安心に関わる各種訓練、各種活動を効果的に実施することができ、様々な事案に対応するための能力強化はもろろん、関係機関・関係団体との一層の連携強化を図ることができました。関係の皆様との多大なご協力に感謝申し上げます。

本年も横浜港は益々の賑わいを見せ、人、物の動きもさらに活発になるものと思えます。横浜海上保安部といたしましては、引き続き、地域の皆様と安全に海を利用し、海の恩恵を享受できるよう、海難の未然防止はもろろん、テロ対策の推進、薬物・銃器の密輸阻止等の水際対策を徹底するなど、海の安全・安心のため全力を尽くして参る所存でありますので、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

一般社団法人横浜港トリート協会(YHR) 会長 藤木 幸夫



新年あけましておめでとうございます。新年明けましておめでとございます。

港湾人の皆様、新年明けましておめでとございます。新年のあいさつに当たって、このところ毎年のように日本人のノーベル賞受賞をいかに嬉しい事か紹介して参りましたが二年連続で受賞がありませんでした。何故このような右肩下りの状況になってきたのか、再び輝く日本にするために、原因を突き止め、対策を講じる年に是非したいです。大学が文部科学省主導による独立行政法人化(国家予算の削減方策)

によって、研究資金を自分で稼がねばならなくなり、教育・研究そっちのけで資金調達に奔走しなければならぬ。大学の先生まで守銭奴のようになり、日本の教育が荒廃し、また社会全般にもモラル崩壊を起してしまっています。これまでも日本が安全な国であったのは、日本国民の教育レベルの高さ、また全般的な教育がしっかりと行われて、国民の道徳・倫理意識が高く、国全体が安全であり安心できる国であったといえます。この基盤こそが防犯の真骨頂です。それが揺らぎ始めていくことが大きな問題といえます。前政権は政治的に強いことで、様々な政策を強引に押し進めました。IR/カジノ誘致は正にその象徴的な政策でした。しかし、公序良俗に悖る最たるものであるIR/カジノ誘致に對しては、市民がその覆して崩壊させました。市民がその気になったら、相手がいくら強大な権力でも覆すことができることを証明したという意味では、このIR/カジノの撤回は歴史に残る快挙でした。この辺りの事を描いたドキュメンタリー映画「ハマのドン」が好評を博し、半年以上も上映が続いたという事実からも、このIR/カジノ撤回事件は日本国民に大きな勇気を醸し出したのではないかと、少し自負しています。

さて、IR/カジノ誘致がなくなった今こそ山下ふ頭の再開発を真剣に考えるべき時期に來ました。山中市長は自らの指示により、横浜市港湾局が動く、市の条例に従って、市長が諮問する「山下ふ頭再開発検討委員会」を昨年八月に開始しました。これまでも弊協会は毎年に「心豊かな山」なる山下ふ頭の再開発目指し、公序良俗に悖ることは一切してはならない。山下ふ頭は市民・村人が主体となつて事業開発して、さらには事業の責任を負う形とすべき」としてより主張しています。特定の事業者が利益を得るようなことには決してならないようにしなければならぬと考えています。我々は港湾人を普及する団体であり、秩序を乱すことは決して許さないと覚悟しています。

山下ふ頭の再開発に際して、横浜港防犯協力会の一員として、山下ふ頭の再開発には「防犯」という概念を入れ込んで開発すべきであると考えています。今、山下ふ頭はIR/カジノ誘致活動の名残りである暫定地区(空地約一〇ヘクタール)があります。この暫定地区は、当初山下

ふ頭の再開発には賛成して、我々港運事業者の物流倉庫が存在していた水川丸側の一帯約一〇ヘクタールから退去し、更地にした段階で、急に山下ふ頭でIR/カジノを誘致するという前市長(林文子氏)発言により、我々は反発して再開発を凍結したため、未だに更地として存在している空き地です。委員会に於いて山下ふ頭の開発の方針を絞って行くとしても、一〇ヘクタールに及ぶ空き地を利用して様々な再開発アイデアを試してみたい再開発アイデアを実験によって証明された良いアイデアを導入した再開発が成功に向けていく確率が大きく増すのは必定です。本番の開発で失敗しないように実証事業は必ず実施しなければならぬと認識しています。今年中には国際貿易展示場を模擬したイベント、またたくさんの方々が集まるコンサート、フェスティバル、ライブを行ってその良し悪しを判定して行く予定です。

一方で、深く思慮しなければならぬことがあります。山下ふ頭を人が集まるように開発すると、平均一日当たり二〇万人、五〇万人規模の人々が参集すると予測されます。これは一大事です。スムーズなアクセス性と共に、雑踏混雑を造らぬようにする工夫が必要になります。これに対応するには大胆ではあります。山下ふ頭を考慮して鉄道網の整備が必須ではなかと考えられます。例えばこの新たな鉄道網の整備の一環で直下に地下鉄の駅を造るのが良いのではないかと考えています。人が多く集まれば、経済的に潤うこともありますが、一方で、事件事故の発生が多くなります。従って防犯の考えを取り入れながら開発することが重要なのではないのでしょうか。

二〇二一年から、弊協会(YHR)も横浜港防犯協力会の新メンバーとして参画して二年になり、港の防犯、安全・安心の普及に努めております。今後も横浜港に侵入しようとする邪悪な波を防いで、波止場の本領を発揮し続けたいと思っております。新年のおめでたい日に際し、皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。



お知らせ
横浜港防犯協会連合会「防犯功労者表彰式」が、令和五年二月一日横浜市中区アトリウムにて開催され横浜港防犯協力会からは次の方々の方が表彰されました。
防犯功労賞個人 公益社団法人横浜港防犯協力会 (株式会社宇徳) 小川 宏 様
防犯功労賞個人 個人会員 小川 宏 様
防犯功労賞団体 公益社団法人横浜港防犯協力会 法人会員 横浜商工会議所 様

謹賀新年
公益社団法人 横浜港防犯協力会
個人(賛助)会員
藤木 幸夫 田端 孝明 花島 幸太 藤木 龍次郎 原田 裕介 酒井 近二 笹岡 啓三 吉岡 幸三 藤木 真仁 小川 宏元 松本 真雪 奥方 有彦 早川 順也 阿部 立也 青木 英二 田留 高志 鈴木 幸夫 藤木 隆之 山田 幸之 小林 正明 小寄 友之 酒村 友之 木村 幸太 藤木 博志 平田 隆晴 佐々木 真仁 奥主 立志 青木 雅彦 齊藤 昭夫 森枝 昭夫
(順不同・敬称略)